

笠間書院
kasamashoin

伊勢物語古注釈決定版絶賛刊行中！

片桐洋一・山本登朗責任編集

伊勢物語古注釈大成

全七巻 + 別巻一

全巻ご予約受付中！

千年以上にわたり
継承されてきた
『伊勢物語』
享受の歴史の全貌がここに

主要古注釈を体系的に編集・翻刻。

注釈書の影響が一つの文学史や文化史を形作る伊勢物語の世界。

別巻にてシリーズ全冊を網羅した詳細な索引を用意。

推薦の辞

伊勢物語の世界へと参入する喜び

秋山 虔(東京大学名誉教授)

伊勢物語の成立・伝流・享受等に関する研究をまとめられた片桐洋一氏の『伊勢物語の研究[研究篇]』は、研究史に期を画する金字塔であったが、氏の学説の依拠資料の集成である大著『伊勢物語の研究[資料篇]』を繙くとき、今更ながら時代時代の人びとの魂を吸引しつづけたこの歌物語の奥知れぬ魅力がおのずと実感される。この「資料篇」に集成されている古注釈群との対話によって、学界を席捲することになった片桐氏の学説が熟成したのだといえようが、その片桐氏に私淑し歩調を合わせつつも、細緻な独往の追究によって伊勢物語の本姿に迫ろうとする一連の作業で注目を浴びておられるのが気鋭の山本登朗氏である。

さて、上の片桐・山本両氏の責任編集による『伊勢物語古注釈大成』全七巻+別巻一が誕生することになった。これは壮観である。近時すでに鉄心齋文庫蔵の古注釈や片桐氏編集の古注釈が上梓されているが、それらの成果を踏まえてあらたに精撰された諸書の体系的に編集・翻刻されるのがこの叢書である。詳細な解説も有益であり、私たちは多種多様な案内に導かれて伊勢物語の世界へと参入する喜びを満喫することができよう。

古典の注釈の成り立ちと変遷を考える上にも有意義

島津忠夫(大阪大学名誉教授)

『伊勢物語』は『古今和歌集』とともにもっとも重要な古典であり、その本文ばかりでなく、その注釈までもが、後代の文学の生成の上に果たした影響は極めて大きい。従来、本文だけではどうしてもはつきりしなかった連歌や謡曲の典拠が、古注釈をもいっしょに考えることによって、明らかになったことを知らされた時の驚きは、今もはつきりと思い出すことができる。いまここに中世から近世初期にかけての『伊勢物語』の古注釈が、新しい資料を求めて、改めて体系化されることは、大きく言えば、わが国の古典の注釈書の成り立ちと変遷を考える上にも有意義であると言わねばならないであろう。『伊勢物語』の古注釈に新たな意義を見出だして学界を先導されて来た片桐洋一氏、『伊勢物語』の古注釈を細かく後付けられて来た山本登朗氏の責任編集で、気鋭の研究者により、翻刻・解題・索引の試みられることは、まことに喜ばしい。ただに『伊勢物語』の専攻者ばかりでなく、中世文学や近世文学の研究者にもひろく目を通してほしいと思う。そこにはきっと思わぬ新しい世界が開けてくることであろう。

国語史、国語学史の研究の面からも刊行を喜ぶ

築島 裕(東京大学名誉教授)

『伊勢物語』は、その成立間もない平安時代において、既に多くの文学作品に引用されたばかりでなく、鎌倉時代以降になっても、国文学の種々のジャンルに亘って、大きな影響を与えて来た。そして、『古今和歌集』『源氏物語』と並んで、史上、最も重視された古典であった。鎌倉時代以降、多数の注釈書が編纂されたが、その中では、『伊勢物語』が当時、どのように理解、読解されて来たかという状況が、如実に反映されている。

編者の片桐洋一氏は、『伊勢物語』の研究の第一人者であり、その業績は学界から高く評価されている。今回、氏を中心として、その教えを受けられた方々や、氏と学問的交流の深い方々の多大の努力によって、今日まで傳存した多数の古注釈書の中から、二十余種の文献を精選して『伊勢物語古注釈大成』七巻+別巻一が編纂刊行されることになった。『伊勢物語』の古注釈書は、近年、影印や翻刻が種々公刊されているが、今回の『伊勢物語古注釈大成』は、何れも原本を忠実に翻刻したもので、活字翻刻本としては何れも今回初めて公刊されるものの由である。

『伊勢物語古注釈』が『伊勢物語』自体の研究に必須の資料であることはいうまでもないが、同時に、中世以降の受容の足跡を通じてこの物語の本質に迫るために見逃せない文献であり、更に、これらの著述は、その中に現れる当時の国語史上の事象や、国語に対する注釈者の意識について、多くの貴重な材料を提供するものであって、国文学史研究に併せて、国語史、国語学史の研究の面からも、『伊勢物語古注釈大成』の刊行を喜び、推薦の辞を呈する次第である。

もう一つの伊勢物語の出現

馬場あき子(歌人)

此の度、片桐洋一氏の御尽力によって『伊勢物語古注釈大成』七巻+別巻一が刊行されるという。心ときめく思いをもつ一人である。長年、能に親しんできた私にとって、能の「杜若」や「雲林院」「小塩」などに作り込まれている『伊勢物語』の業平像は、荒唐無稽に近づく奔放さをもちながら、無類の真実感を発揮する魅惑の力をみせつづけている。

人が歌を詠んで、韻律ある言葉の洗練を誇る場面は、まだかなり劇的な時期であったといえようか。人の心を捉えた歌は、誰が、いつどんな場面で詠んだかを語らずにはいられない欲求があったにちがいない。片桐氏のいわれる「段末加注」は、さらにとっぴな空想や暗示、こじつけまで加え、物語の累加部分は増えつづけたようだ。それは語り手の熱意に温められ、ふしぎな説得力をもっている。

高子后と業平の神代とか、春日野と武蔵野の同義性、「伊勢や尾張」の「過ぎにし方」の秘事等々、古注釈の謎のような世界こそ、おそらく「伊勢物語研究」のもう一つのはじまりとなるものであろう。

日本古典文学の面から刊行を喜ぶ

山本登朗(関西大学教授)

片桐洋一(大阪女子大学名誉教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

刊行の趣旨

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

全巻構成

【編集委員】

片桐洋一
山本登朗

◎第一巻 ISBN978-4-305-70041-4・本体8,500円(税別)・既刊

- 『十巻本伊勢物語注 冷泉家流』(鉄心齋文庫蔵)
- 『増纂伊勢物語注 冷泉家流』(鉄心齋文庫蔵)
- 『伊勢物語奥秘書』(鉄心齋文庫蔵)

青木賜鶴子
大口 裕子
大谷 俊太
岡蔦偉久子
神田 裕子
岸本 理恵
日下 幸男
鈴木 隆司
藤島 綾
丸山愉佳子
盛田 帝子
山本 淳子
渡辺 泰宏

◎第二巻 ISBN978-4-305-70042-1・本体8,500円(税別)・既刊

- 『和歌知頭集 書陵部系統』(歓喜光寺蔵)
- 『伊勢物語和歌知頭集 島原松平文庫本系統』(鉄心齋文庫蔵)
- 『伊勢物語難儀注』(冷泉家時雨亭文庫蔵)
- 『伊勢物語髓脳』(鉄心齋文庫蔵)

◎第三巻 ISBN978-4-305-70043-8・本体9,800円(税別)・既刊

- 『伊勢物語愚見抄(下巻は兼良自筆本)』(冷泉家時雨亭文庫蔵)
- 『伊勢物語肖聞抄 文明九年本・宗長注書入』(片桐洋一蔵)
- 『伊勢物語肖聞抄 延徳三年本』(聖護院蔵)
- 『伊勢物語山口記』(鉄心齋文庫蔵)

◎第四巻 ISBN978-4-305-70044-5・本体14,800円(税別)・既刊

- 『伊勢物語惟清抄』(天理大学附属天理図書館蔵)
- 『伊抄 称名院注釈(三条西家旧蔵)』(学習院大学日本語日本文学研究室蔵)
- 『伊勢物語宗印談』(鉄心齋文庫蔵)

◎第五巻 ISBN978-4-305-70045-2・本体14,800円(税別)・10年02月刊最新刊

- 『志能夫数理』(陽明文庫蔵)
- 『経厚講伊勢物語聞書』(曼殊院蔵)
- 『伊勢物語闕疑抄 寛永十九年刊本』(鉄心齋文庫蔵)

◎第六巻 ISBN978-4-305-70046-9

- 『伊勢物語愚案抄』(東山御文庫蔵)
- 『伊勢物語後水尾院抄』(京都大学附属図書館蔵)

◎第七巻 ISBN978-4-305-70047-6

- 『初度本伊勢物語拾穂抄』(鉄心齋文庫蔵)
- 『伊勢物語拾穂抄 延宝四年刊本』(片桐洋一蔵)

◎別 巻 ISBN978-4-305-70048-3

索引(人名・書名・引用和歌)



笠間書院

kasamashoin

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-2-3
 電話03-3295-1331 FAX03-3294-0996
 info@kasamashoin.co.jp
 www.kasamashoin.co.jp

申 込 書	を セット 申し込みます。	書店名	番線印
	ご住所 〒 () お電話()	お名前	毎度ありがとうございます。ご注文をお待ちしております。

※お客様の住所・氏名などの個人情報は、お申し込みの書籍を小社から書店様にお届けするために、笠間書院・販売会社・書店で利用させていただきます。その他の目的では利用いたしません。ご了承のうえ、お書き下さい。